神の岩橋

1926年に建築された神の岩橋（Rock Bridge of the Gods）は、秋田県で最も古い吊り橋です。抱返り渓谷散策路の入り口がある抱返神社のすぐ先に位置する全長80メートルの朱色の欄干を備えた吊り橋は、かつて森林軌道の一部でした。 現在、この橋は緑豊かな谷への入り口の役目を担っています。

橋からは抱返り渓谷の全体が望めます。原生林がV字型の谷を覆い、散策路の両側に延々と生い茂っています。青い玉川は、上流にある神代ダムと神代貯水池から谷を通って流れています。

歴史的価値と眺望を兼ね備えた神の岩橋は、四季を通じて人気のランドマークになっています。